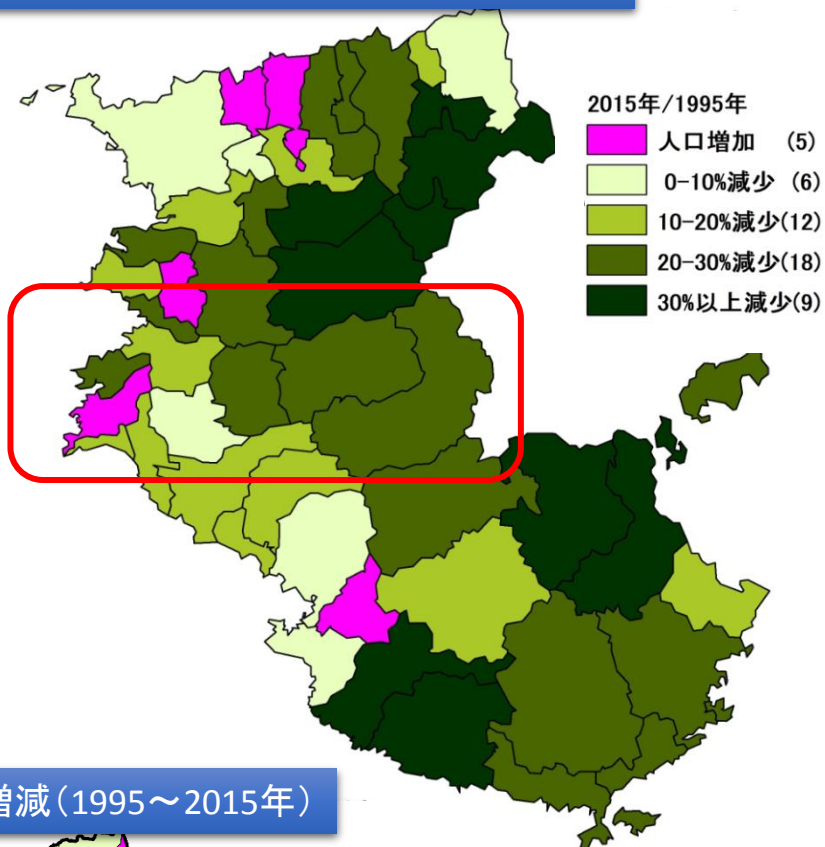


# 第4章 ふるさと生活圏レベルでみた人口動態、ピラミッドの特徴

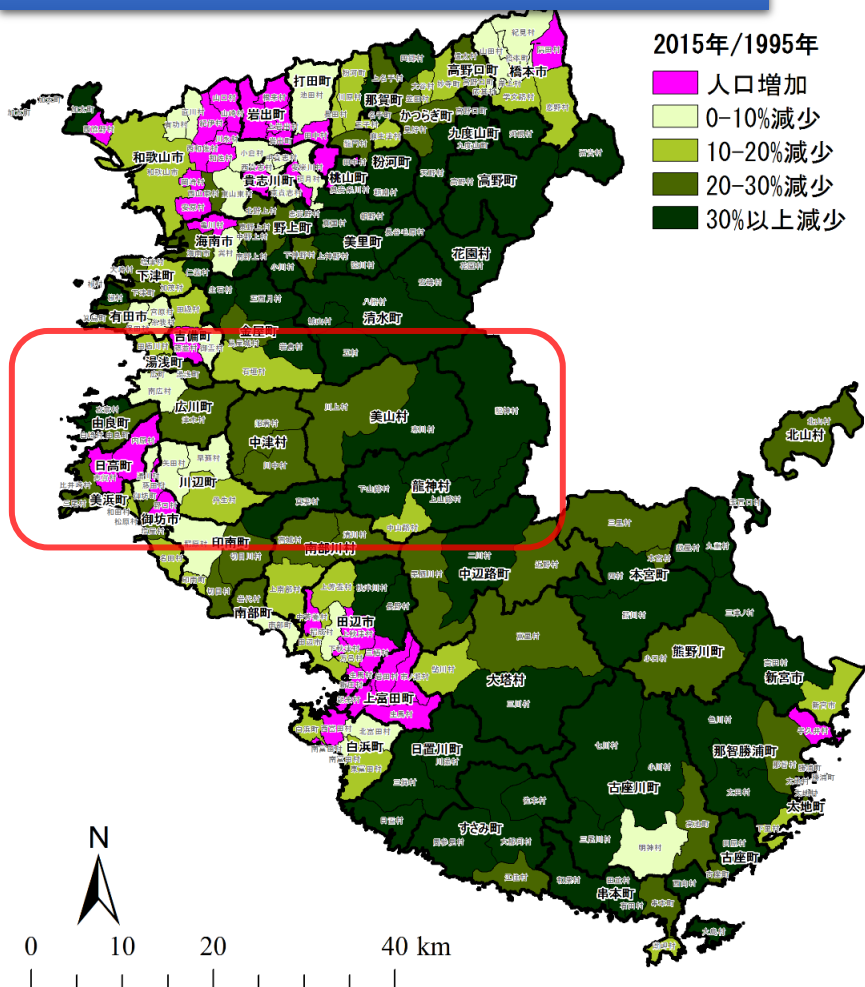
## 50市町村③でみた人口増減(1995～2015年)

明治行政村をベースにした204市町村と、昭和30年代から平成までの50市町村で、人口増減の見え方を比較したものである。

特徴としては、例えばわずかに減少している50市町村域でのある自治体と、それが細分化された204市町村での人口増減は、増加もあり、そこが指摘できるので、域内のより微細な動きを見るには適している。



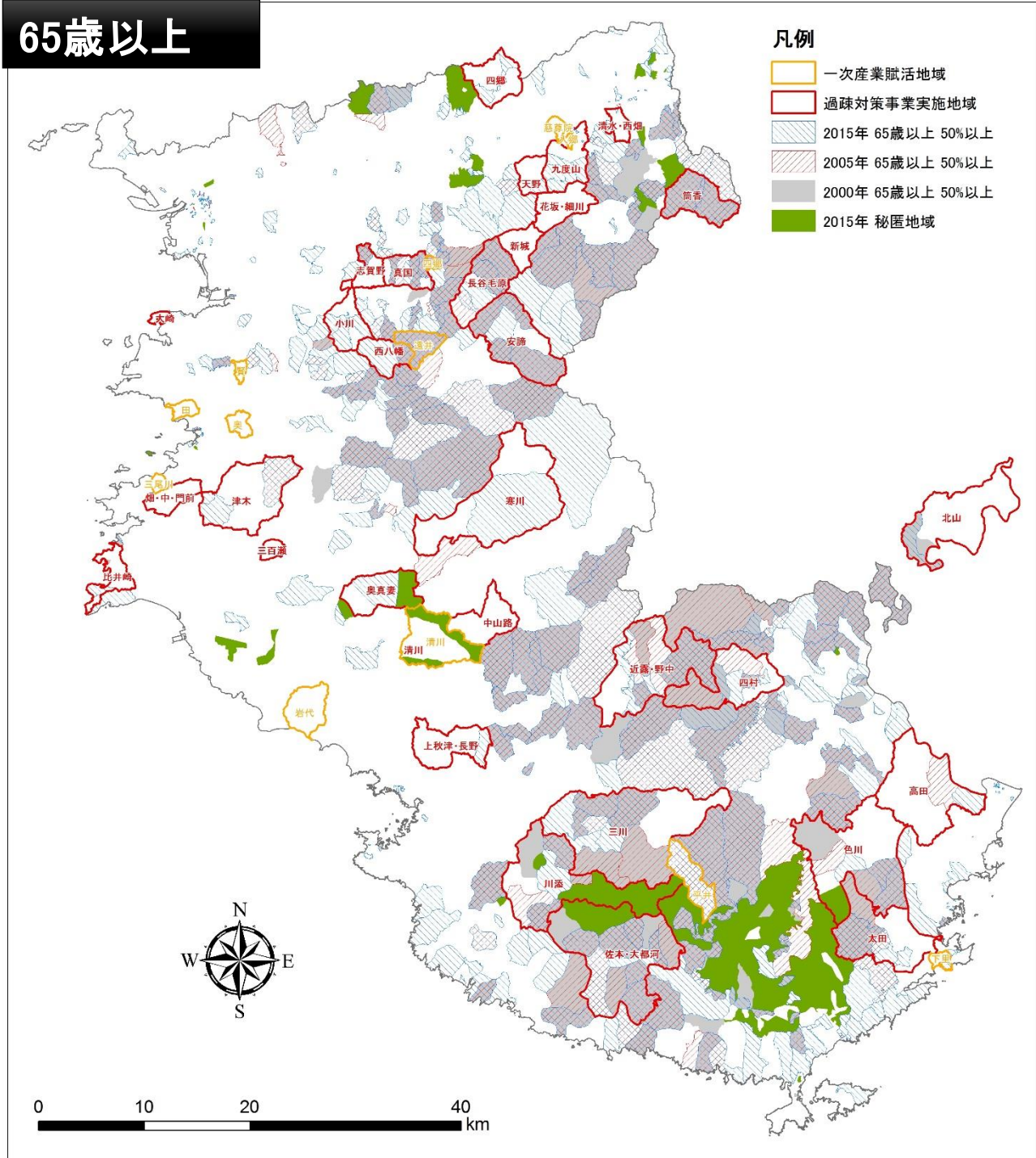
## 204市町村④でみた人口増減(1995～2015年)



減少が大きい市町村内でも、その減少が一通りでないケース、那智勝浦や熊野川、本宮などで見られ、ピンクの増加市町村も、母市町村が減少する中で、増加がみられたこと、この区分で初めてわかったようなところもある。

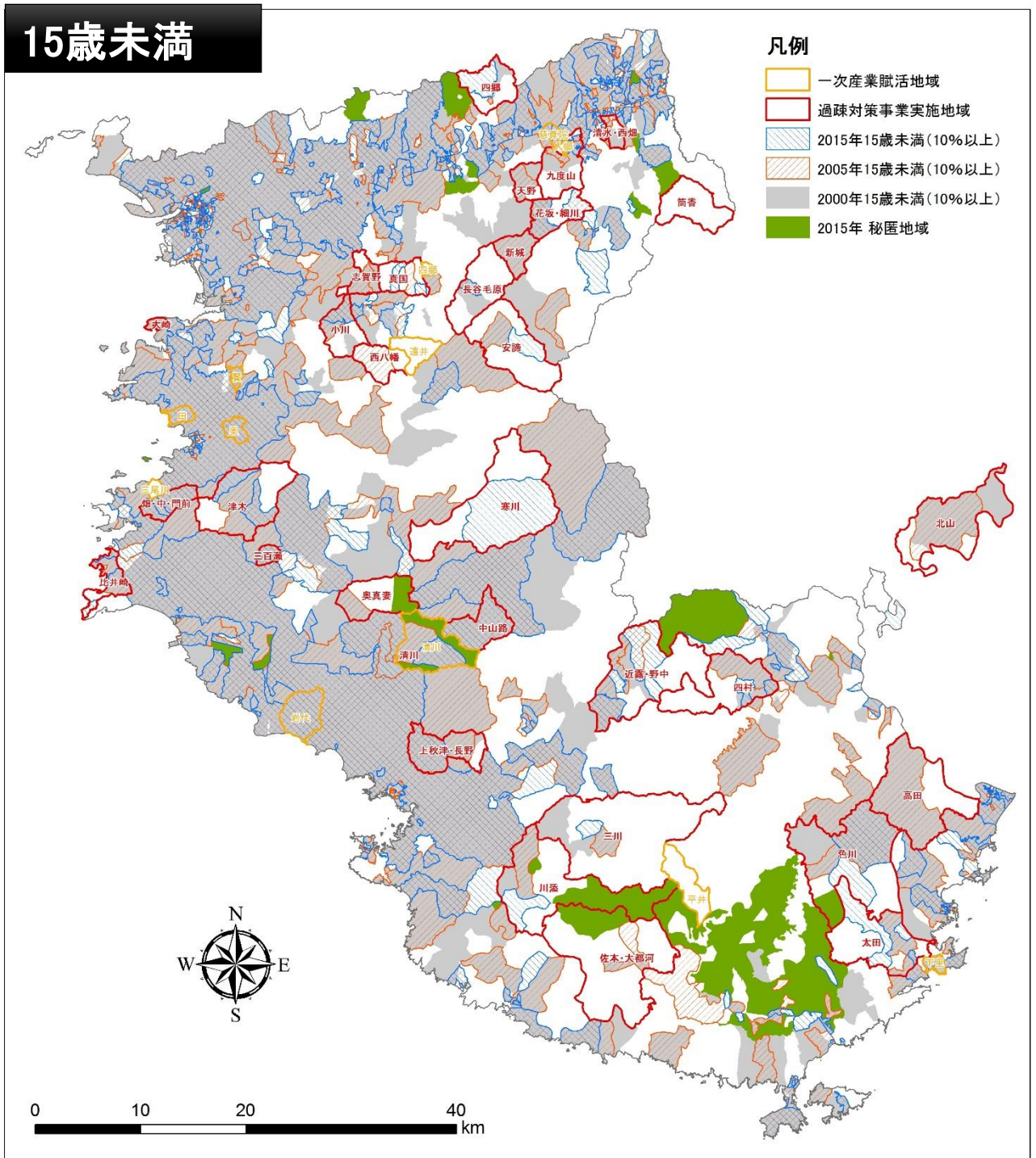
# 小地域区分からみた65歳以上人口集中地区

小地域でみた、期間別の65歳以上人口比の変化で、50%以上越えた時期別にその傾向を見たものである。2000年に50%を越え、その後も50%越えのところが、結構高齢化の進んだところなる。2005年に初めて越えたところ、2015年に初めて越えたところほど薄くなり、白地はまだ50%を越えていないところとなる。緑はもう人がほとんどいないところであり、濃い灰色と緑路の集中する、古座川町、すさみ町をはじめする紀伊半島南央部と、有田川上流、高野山近辺などが最も厳しいところである。中じえじから本宮ではまだらに高齢化が進んでいるように見える。日高川流域や、富田川流域、そして海岸部は枯木灘方面を除き、比較的高齢化は進んでいないようである。



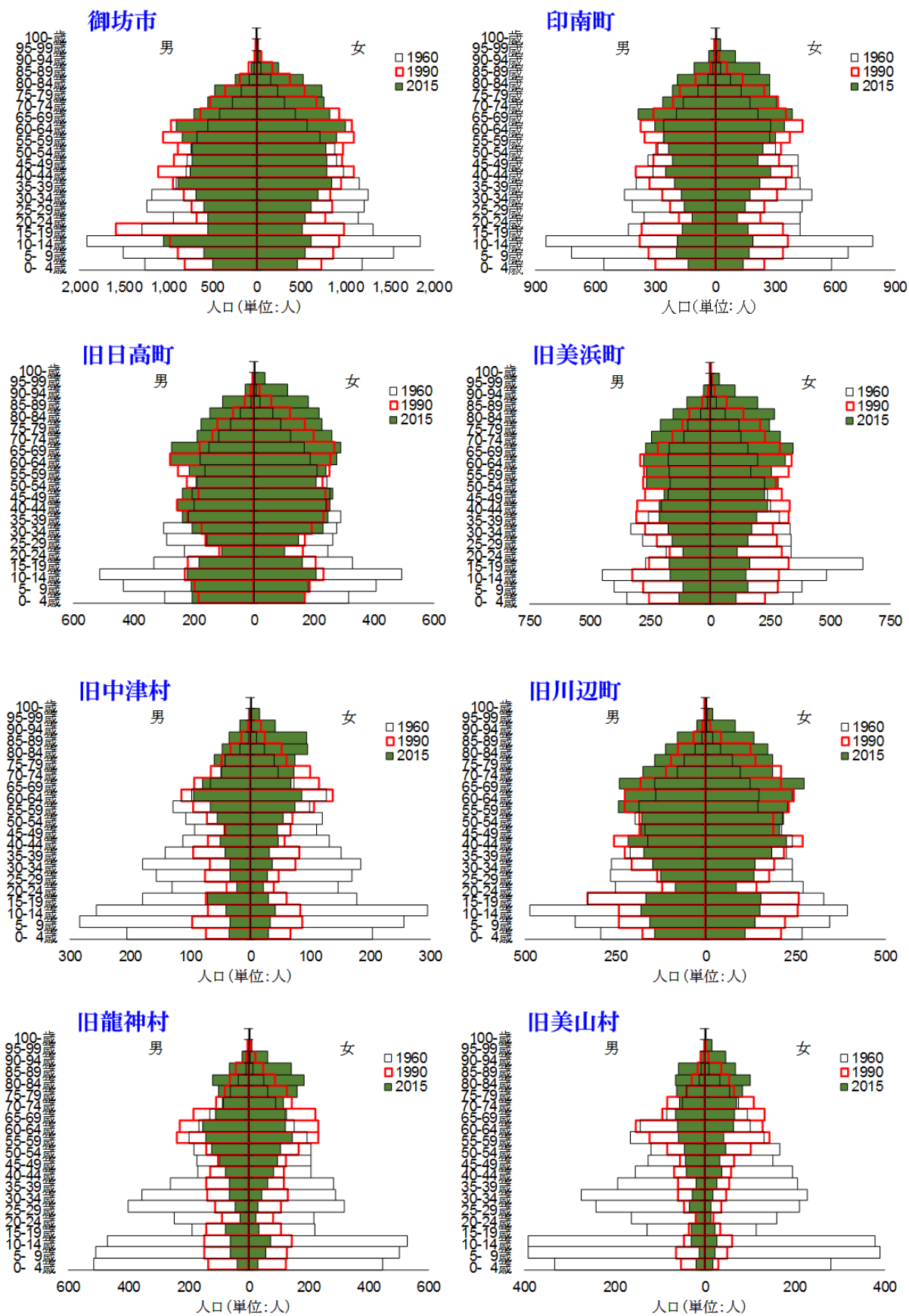
# 小地域区分からみた15歳未満人口集中地区

高齢化人口とは逆に、15歳未満人口が10%以上であり続ける地域を濃く表したところである。65歳以上人口とは逆パターンの分布を示すことになる。紀ノ川筋は当然であるが、日高川流域が比較的奥まで15歳未満人口がまだ少ない地域を山間部にも持っていることがわかる。紀伊半島南央部の厳しいことはこれでもうかがえるが、その他の地域では結構まだらな状況となっており、ミクロなレベルでの若年人口の動向がみられるという点で、重要な知見をこの地図は提供してくれる。



# 人口ピラミッドからみたふるさと生活圏≒204市町村レベルでの人口動態比較一日高川流域市町村を事例に一

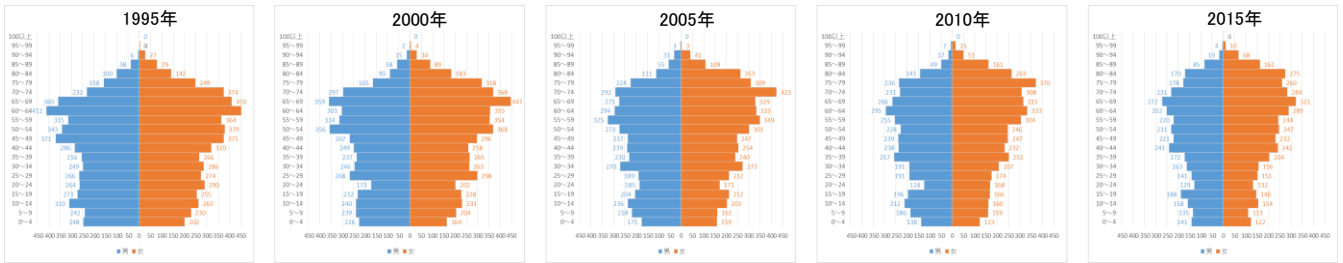
今度は人口ピラミッドで、50市町村での見え方と、204市町村での見え方の違いを、日高川流域の河口から源流地域まで見たものである。



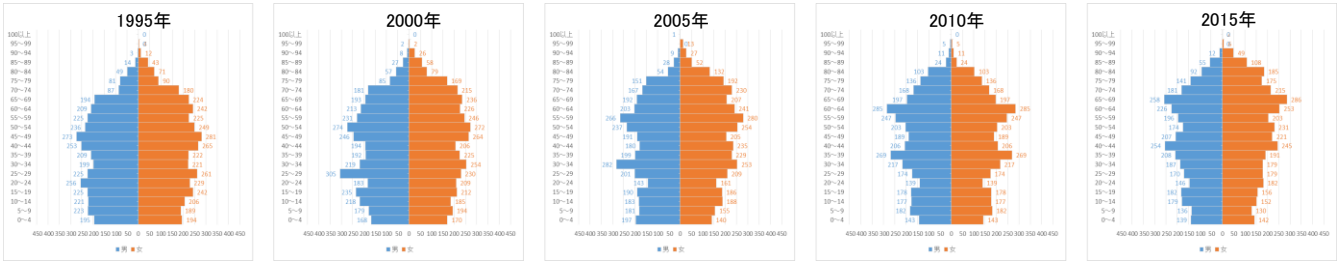
# 御坊市

見方のポイントは、人間の体のスタイルの良さとは逆となっており、腰部がふと  
いずんぐりむっくり型が一番人口動態が安定的であること。腰が絞れた逆三角  
形の理想的な体躯が、ピラミッドにおいては最も危険になるという点から眺め  
ると、置かれている人口動態のありかたを確認することが可能となる。

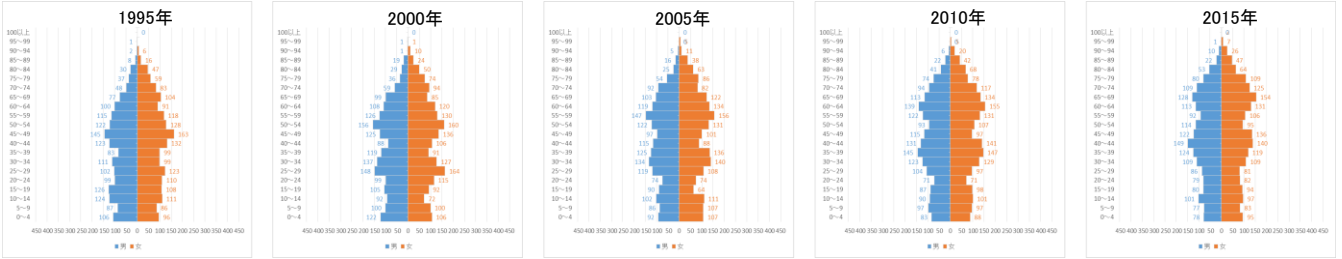
## 御坊町(御坊市) 人口幅450人



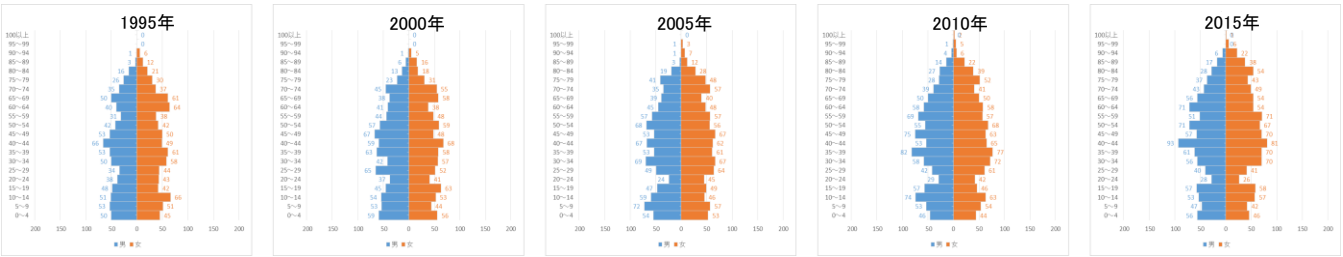
## 湯川村(御坊市) 人口幅450人



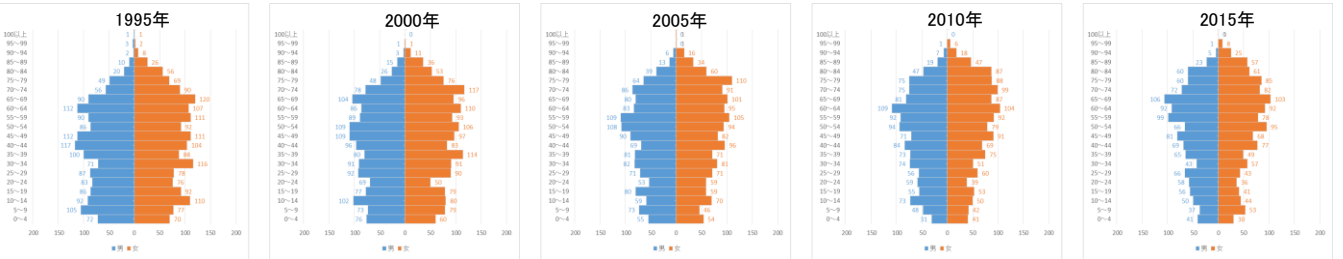
## 藤田村(御坊市) 人口幅450人



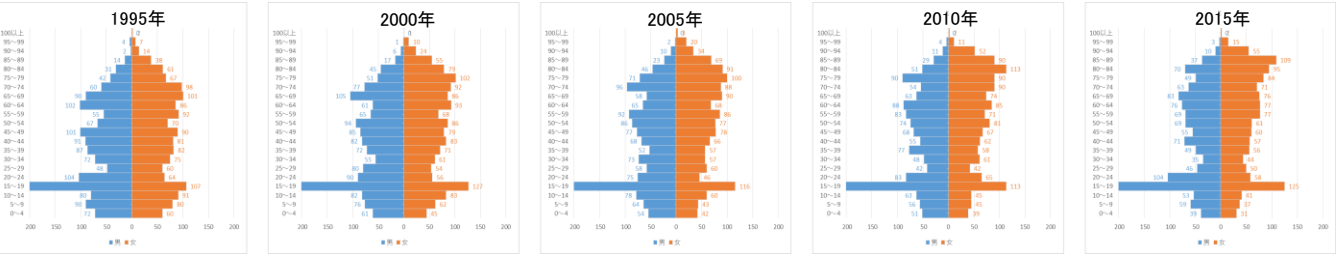
## 野口村(御坊市)



## 塩屋村(御坊市)



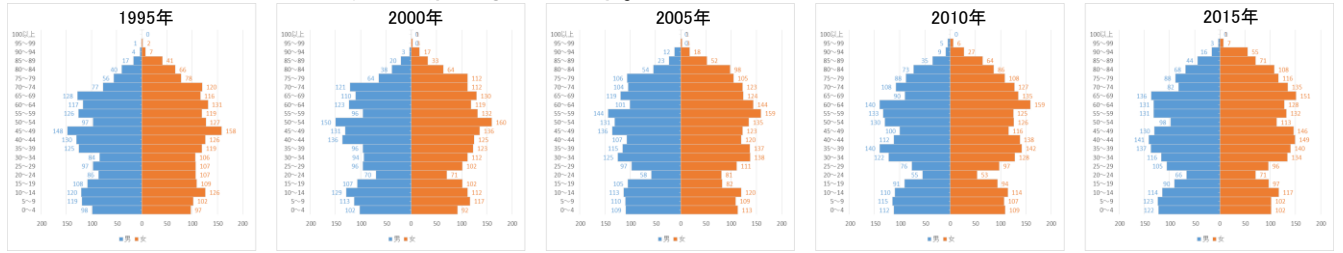
## 名田村(御坊市)



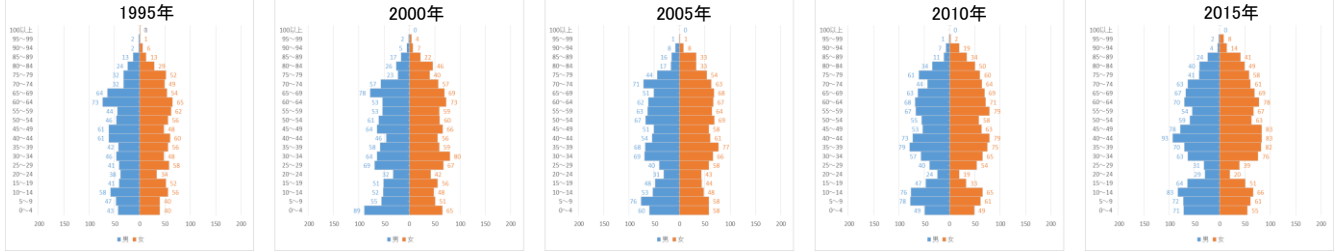
# 御坊市周辺

## 内原村(日高町)

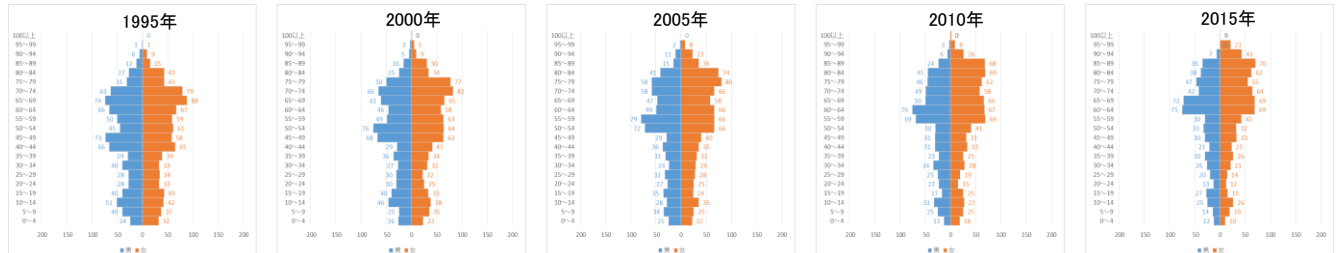
内原、志賀がずんぐりむっくり、和田、松原、規模は小さいが比井崎は逆三角形化しているの、少々黄色信号ということがわかる。三尾は赤信号のなピラミッドの形となっちえる。



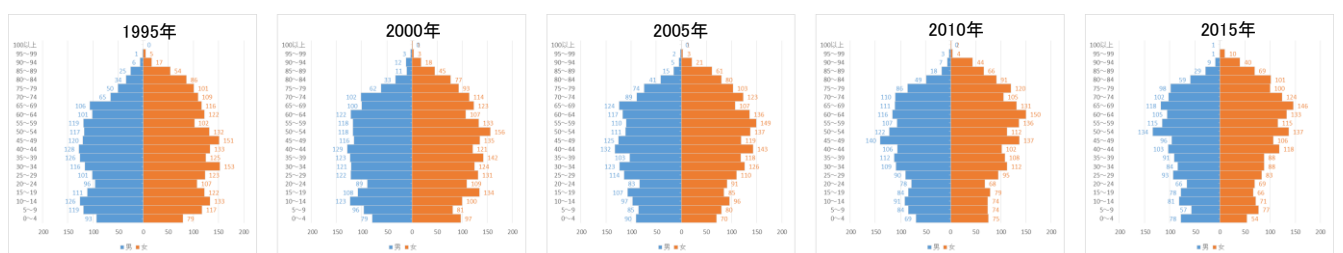
## 志賀村(日高町)



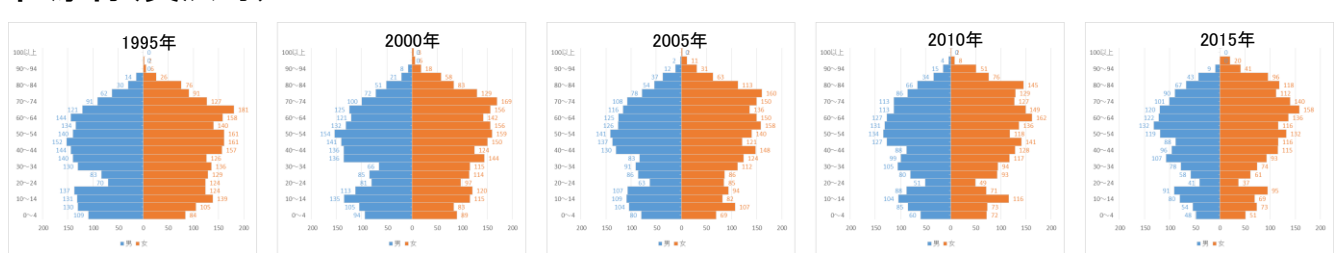
## 比井崎村●(日高町)



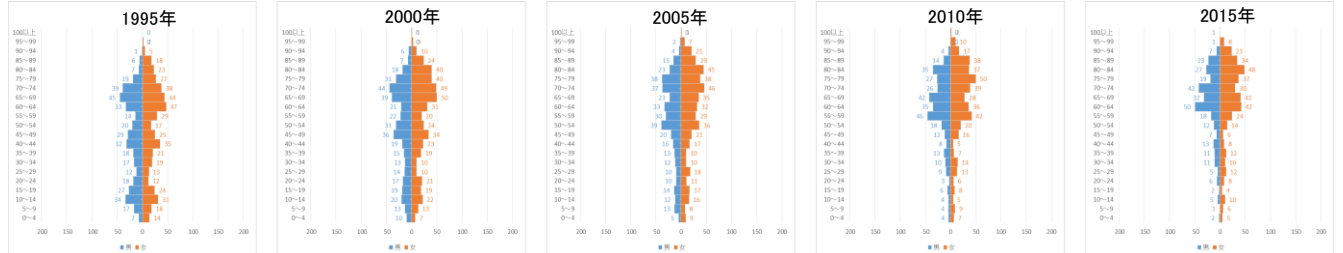
## 和田村(美浜町)



## 松原村(美浜町)



## 三尾村(美浜町)

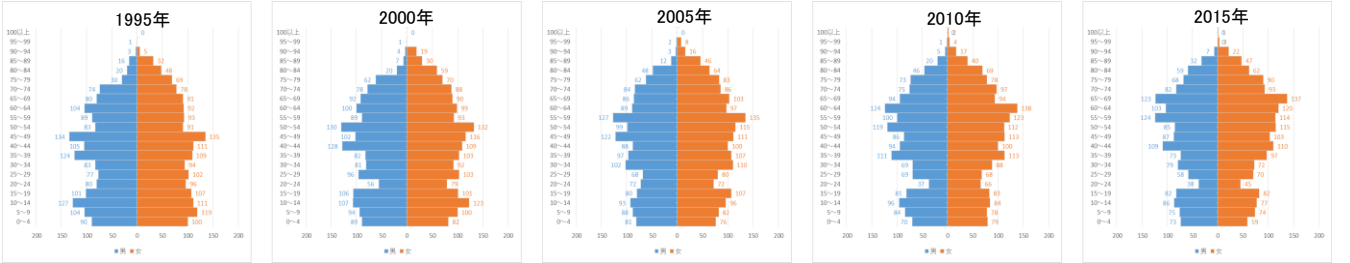


# 日高川中流域

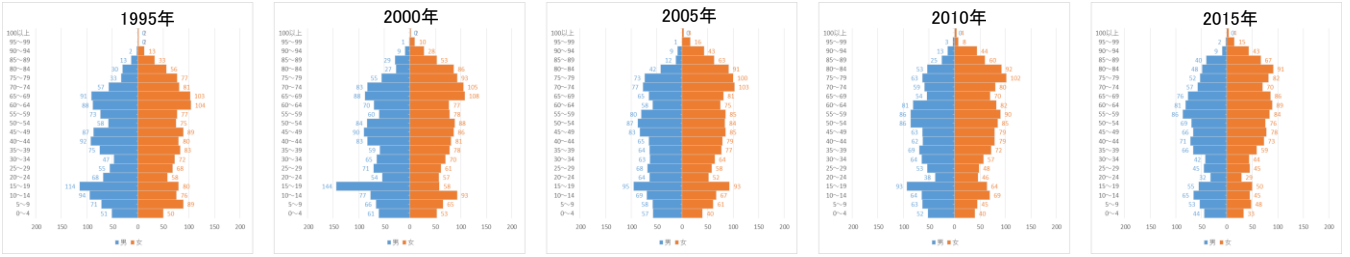


比較的人口動態パフォーマンスのよい地域のピラミッドの形を見ることができ  
 矢田村(川辺町) る。ずんぐりむっくりからずんどう型が主流である。

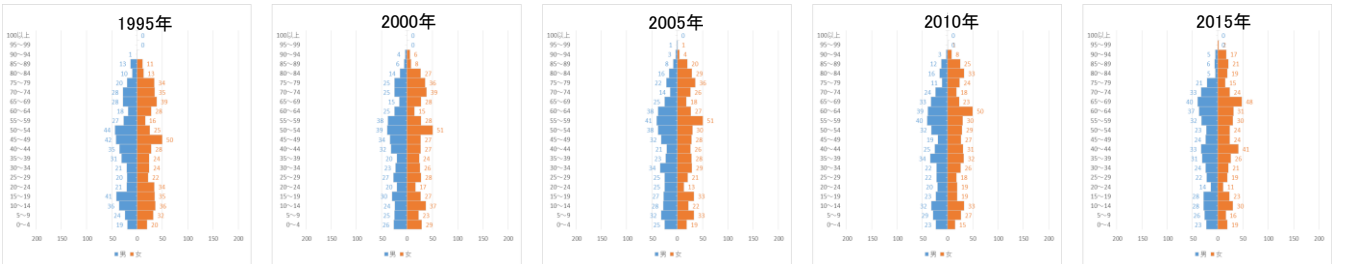
## 矢田村(川辺町)



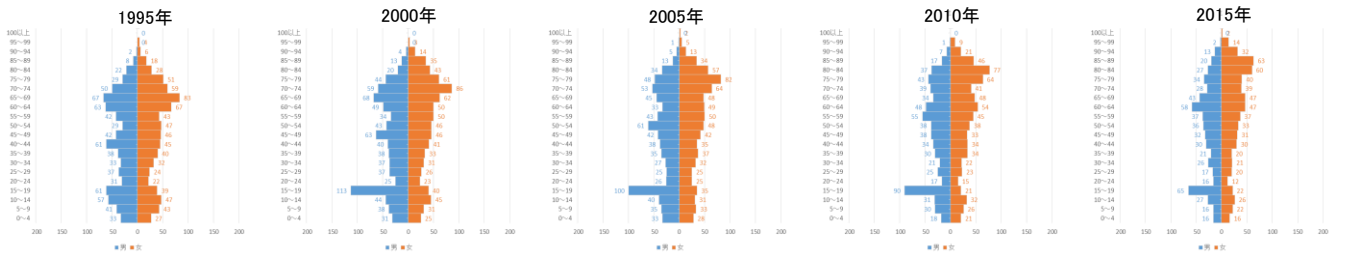
## 丹生村(川辺町)



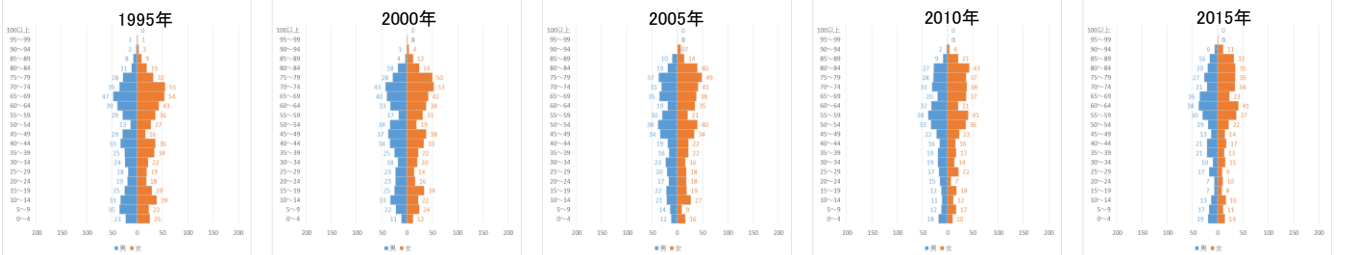
## 早蘇村●(川辺町)



## 船着村(中津村)

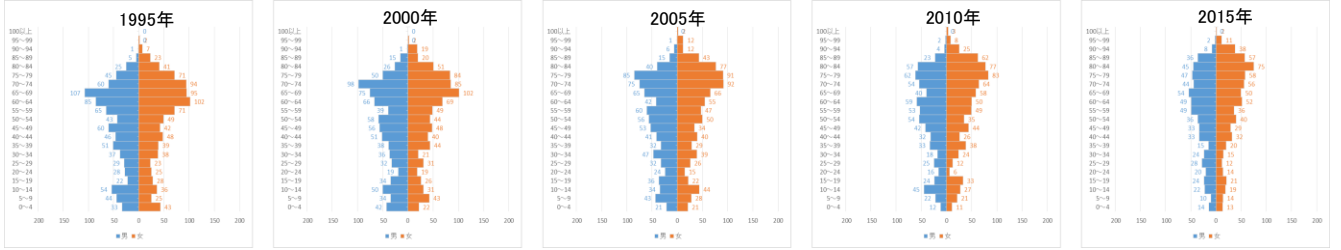


## 川中村(中津村)

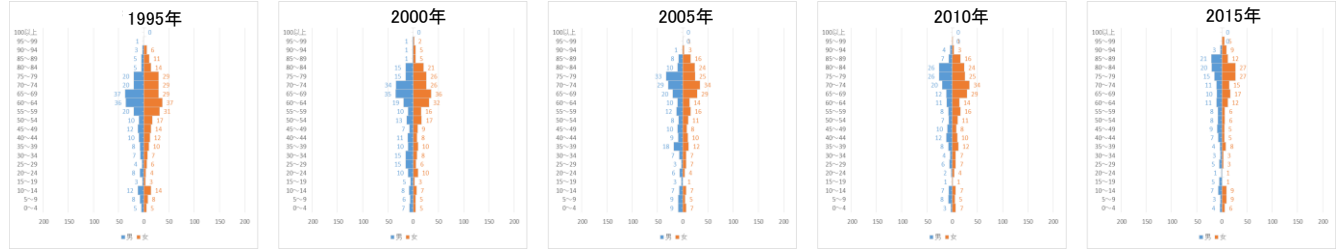


# 日高川上流域 川上村(美山村)

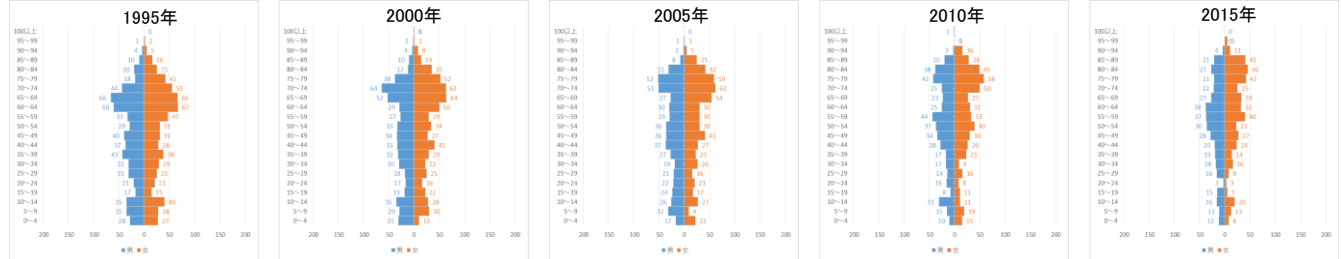
逆三角形化が進みつつも、若年や生産年齢層でなんとかずんどう的な用途を保つ地域が多くみられる。ターン効果である。龍神は厳しい、細身の逆三角形ピラミッドとなっている。



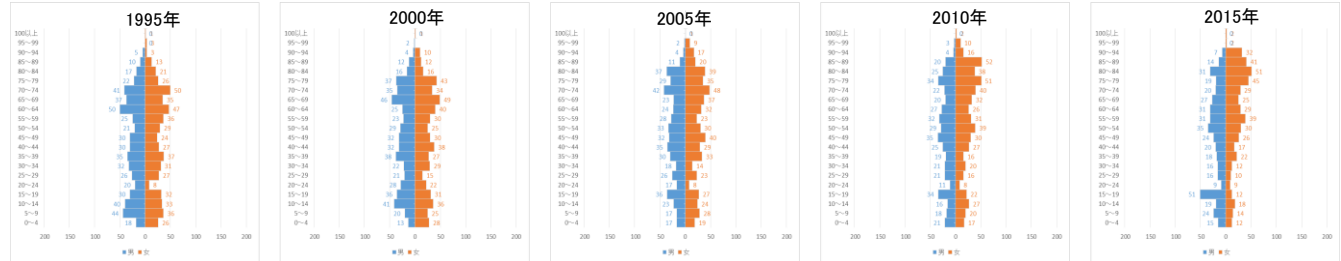
# 寒川村(美山村)



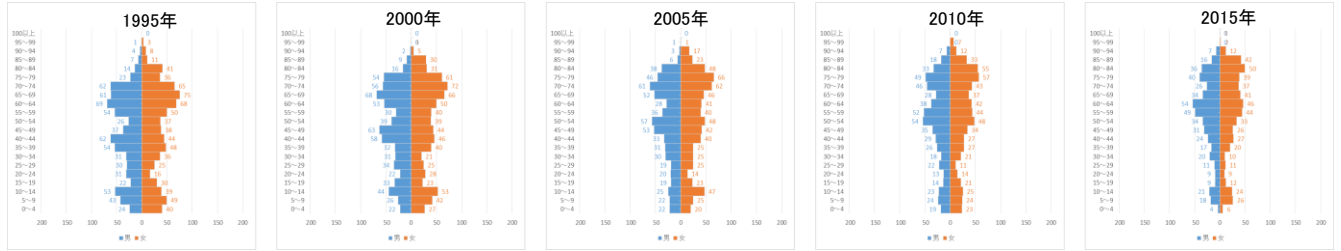
# 下山路村(龍神村)



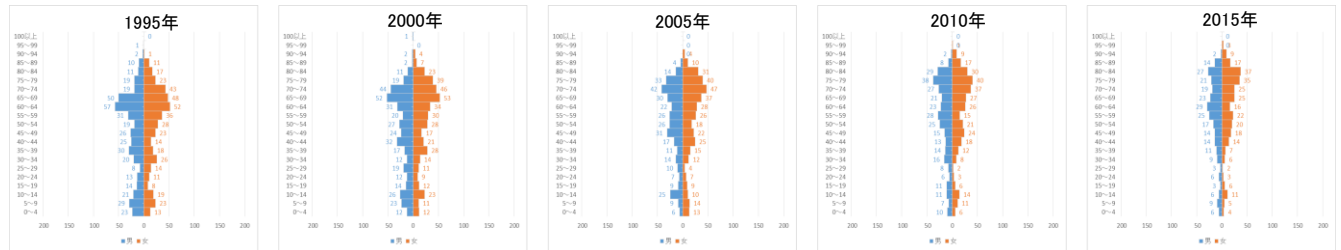
# 中山路村(龍神村)



# 上山路村(龍神村)



# 龍神村(龍神村)

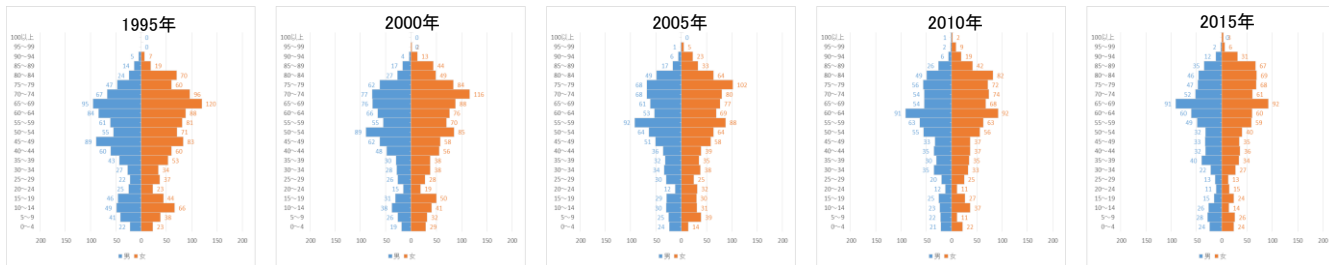




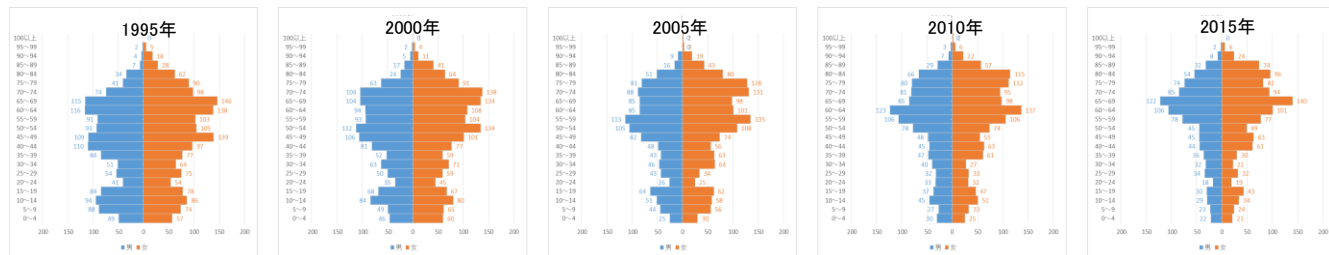
# 古座川流域 海岸部

流域上流の厳しいエリアを抱える古座川河口部の地域であるが、逆三角形の細身化が進行しており、厳しい形のピラミッドとなっている。

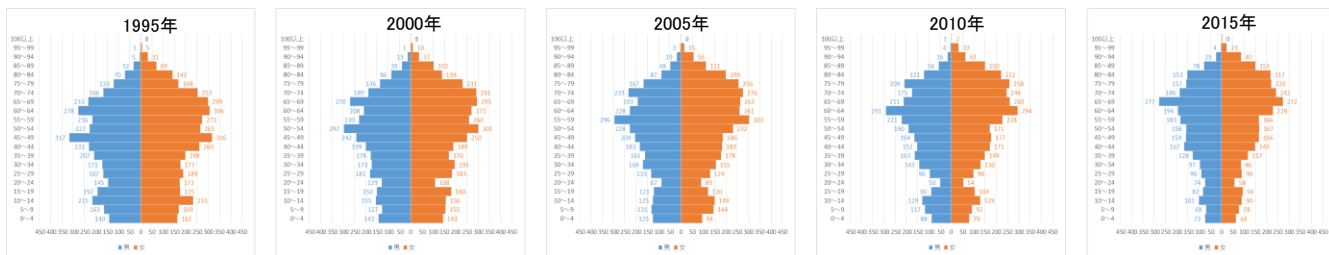
## 古座町(古座町)



## 西向町(古座町)



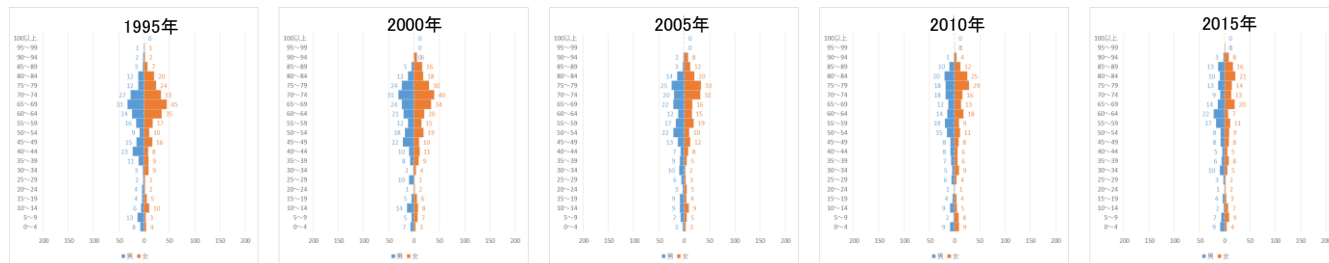
## 串本町(串本町) 人口幅450人



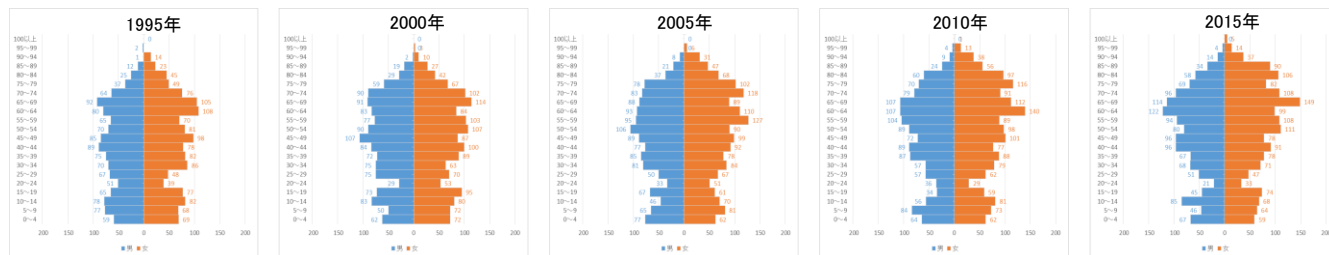
# 那智勝浦町の特徴あるエリア

Iターン者の存在で、細身ながら寸胴をたもっている色川と、人口増加を見せる宇久井の人口ピラミッドの形である。ピラミッドのくびれはやむをえないが、若年層と高齢層の増加が特徴的であり、

## 色川村●(那智勝浦町)

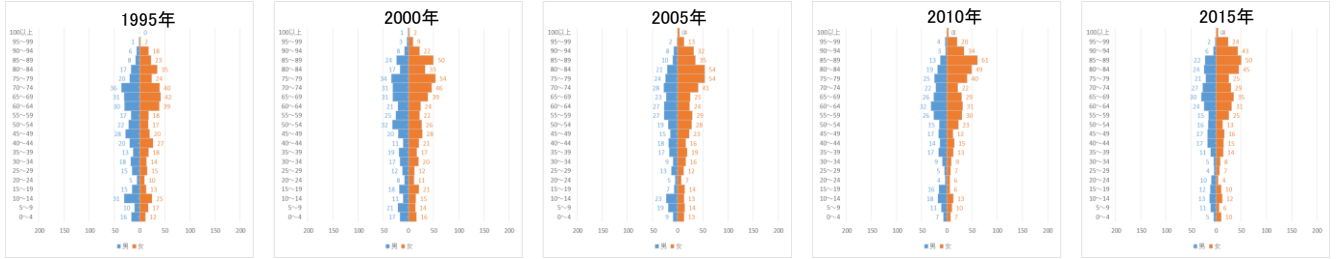


## 宇久井村(那智勝浦町)

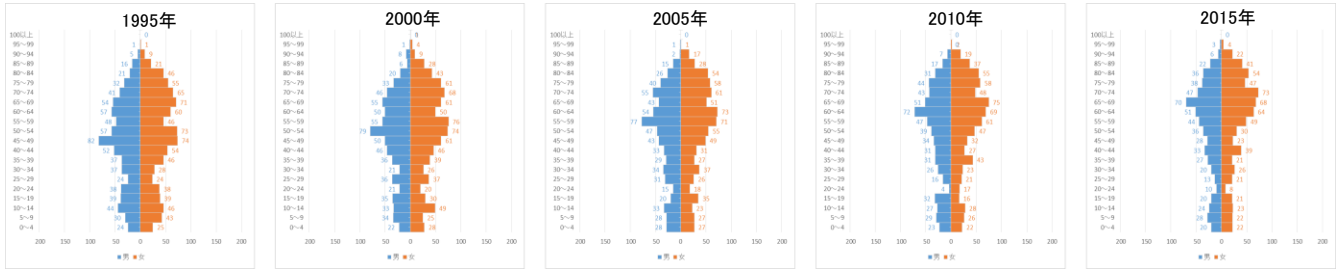


# 古座川流域

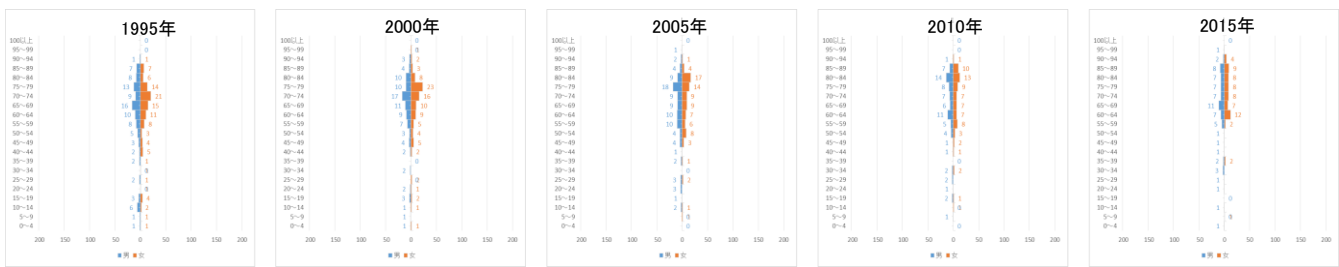
## 明神村(古座川町)



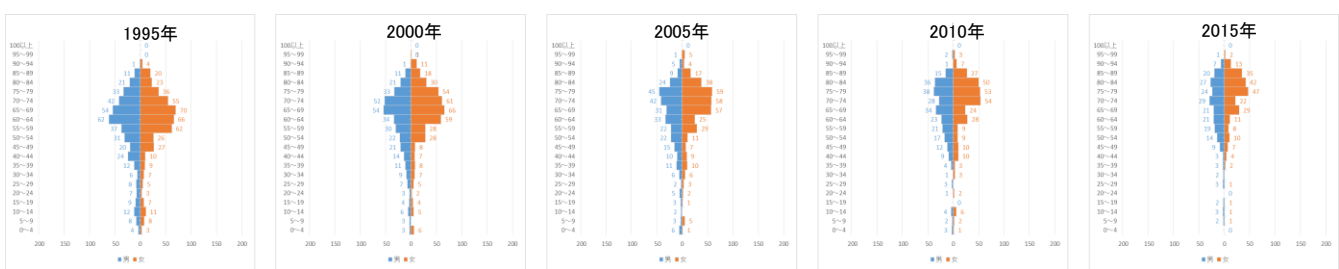
## 高池村(古座川町)



## 小川村(古座川町)



## 七川村(古座川町)



## 三尾川村(古座川町)

